

美魔女狩り

我妻千鶴子編 2

あんぷらぐど著
荒縄工房

SAMPLE 試読 お試し



成人向け・十八歳未満はお読みになれませし。

SAMPLE 試読 お試し

本作品はすべてフィクションであり、実在する人物、地名・団体とは一切関係ありません。また、特定の個人、団体、宗教、人種、性別などを誹謗中傷する音はありません。

あんぷらぐど

S M雑誌に「仲ゆうじ」名でS M小説を執筆して作家活動スタート。その後、作家活動は休止し、編集の仕事に携わります。ネットでは「ふにやふにや」「あんぷらぐど」名でS M小説を執筆。独自の自虐的S M、一人称による告白形式の作風で伝奇S M小説などを発表し続けている。東京在住。

SAMPLE 試読 お試し

目次

これまでのあらすじ	7
主な登場人物	9
輪姦	11
契約書	35
地獄アイドル	69
深夜の宴会	92
血染めの宴会	103
生中継	131
撮影	161
特撮	179
妊婦	190

SAMPLE 試読 お試し

夜の街	2	1	1
搾乳	2	2	1
異物出産	2	3	2
試写会	2	5	4
新生・千鶴子	2	7	7
奴隷として	2	9	6
地獄別荘	3	2	0
甘い罠	3	3	4
恋愛遊戯	3	5	2
居酒屋	3	7	3
どん底	3	8	3
コリーダ	3	9	6

SAMPLE 試読 お試し

奥付	エンディング	破壊	苦悶	気絶
4 7 7		4 3 9	4 2 7	4 1 7
	4 5 7			

SAMPLE 試読 お試し

これまでのあらすじ

浅木郁子に対する美魔女狩りで味をしめたカリスマ美容師・藤木たちは毎朝、テレビでコメンテーターとして活躍する我妻千鶴子を次の標的にした。娘の咲藤木に好意を持っていることを利用して咲を奴隷にする。美麗の奴隷になったことにして、取り戻すためからと千鶴子に奴隷の演技をさせて美麗に接近した。千鶴子はかつて政治家・大堀と結婚していたことあり、咲はその子と思われていたが、学生時代の亦で冒険旅行中に行方不明になった小佐田の子ではなかとという疑いが浮上する。しかし千鶴子はDNA鑑定を拒んでいた。この母と娘にはなにか秘密があるので

SAMPLE 試読 お試し

はないか。

ところが藤木たちより早く、大堀の配下らしい人たちが行動する。ニセのシンポジウムに千鶴子を呼出し、そこで彼女の実像を暴くために駒り者にしてこうというのだ。

おまけに千鶴子の所属事務所もそのことを了承している。

政治力を使ってきた大堀たち。藤木はなんとか、鶴子を自分だけの獲物にしたいと思いつつ、チャンスをうかがっていた……。

SAMPLE 試読 お試し

主な登場人物

我妻千鶴子 あづまち づぶこ 美魔女と呼ばれるコメンテーター。

我妻咲 あづま えみ 千鶴子の娘。

大堀大輝 おおほり だい き 六十代の政治家。次期総裁候補。千鶴子
結婚していた。

小佐田友也 千鶴子の恋人。冒険家。

中脇利恵 千鶴子のマネージャー。

天本清玄 あまもと 二一世紀産業戦略研究会主宰 大堀と組
でいる。映画監督。

藤木祥司 美容師。

阿久まこと 探偵。

SAMPLE 試読 お試し

松葉かおる
スタイリスト
美麗みれいな女優。
SMの女王様。

SAMPLE 試読 お試し

美麗とかおるに責め続けられた咲は、自分で考えることができなくなっていた。二人に言われるままにすることで、快樂が得られると信じることにしたのだからそこに逃げこめば現実を考える必要もないのだからかおるに、目隠しをされる。それぐらいのことはなんでもなかつた。見えない方が楽なときもある。

「これもね」

口にボールギヤグがあてられる。自ら受け入れるは抵抗がある。

だが、かおるは厳しい。鞭でも美麗のようなテクニ

SAMPLE 試読 お試し

ツクによるものではなく、本気で打ち据えるので、
まで響くほど痛い。

それを恐れて、なんとか口を開き、深くくわえ込
だ。

「四つん這いになって」
手を床につく。

空き屋となった中華料理屋に拉致されてから四十
時間以上。ほとんど寝る間もなく、かおると美麗、
して阿久に調教されてきた。

野外でも調教さるなど、場所も何カ所か移動させ
れ、いまはどこにいるのかもわからない。

調教というよりも、オモチャにされてきたのだが、

SAMPLE 試読 お試し

経験のない咲にとってはずべてが強烈すぎる出来事ばかりだった。

いまもかおるがお尻の穴に指を入れている。

執拗に、そこをいじられている。排泄器官にイタラをされることが、咲にはつらくて仕方がない。それから快樂が得られることを覚えさせられ、うしろめさも加わっている。

「お尻で感じるなんて、最低の女になってしまっ……」

小さなお尻を振りながらかおるの指を二本、三本受け入れる。

「すごく大きくなってきたわよ、えむ子のお尻」

SAMPLE 試読 お試し

痛いことはしないでほしい。咲はそれだけを念じていた。

「これ、なんだかわかる？」

金属のなめらかなものがお尻にあてられた。なんだろう。一度、入れられたことがあるだろうか。澄ではない。器具だ。

「沈めてあげるわ」

ゆっくりと押し込まれていく。襞ひだが伸びきって

「動いちやだめよ」

丸い。そしてかなり大きい。

「がふがふ」

咲はあえぐ。肛門がこれ以上はムリというほど押し

SAMPLE 試読 お試し

開かれたあと、その金属がすんなりと中に入ってきてきた。球形なのだ。

そしてかおるが、それをぐいっと引き上げた。

「がわわわあ」

「大げさね。アナルフックぐらいで驚いてどうすの」

かおるは笑いながら、銀色の巨大なアナルフック腸壁の奥へねじ込んでいった。

咲のつらさが、太ももの震えでわかる。

「これもつけないとね」

鼻フックを咲の小さな鼻に入れて引き上げた。

「ぐふふう」

SAMPLE 試読 お試し

「かわいい子豚ちゃん」

ヘッドギアのような革のベルトを頭にかぶせる。の金具を通して、鼻フックからのゴムをアナルフックの末端に取り付けた。細い鎖のリードを取り付けた。立ったままかおるがリードを引くと、鼻フックとナルフックが上に持ち上がる。

「がはああ」

咲は顔と尻をのけぞらせてあえぐ。

手加減なくギリギリの長さになっているので、咲けを向いていなければ痛くてしようがない。

「さあ、行きましようね」

かおるに引っ張られ、犬のように歩く。鼻と肛門を

SAMPLE 試読 お試し

奥付

お読みいただき、ありがとうございました。

二〇一四年二月刊行 二〇一七年九月第二版

著作権 あんぷらぐど（荒縄工房）

荒縄工房の情報は下記サイトへ

●ブログ「荒縄工房」

●ホームページ

●荒縄工房 SM研究室

●今日も上機嫌ってわけないだろ

コメント、メッセージ歓迎。ご意見、ご感想、ご提案など随時、ブログで受付中。

SAMPLE 試読 お試し